

憲法9条守れ!の意見広告各地で頑張る!



平和委員会の秋の取り組みのは9月3日の理事会で、前半は活動交流集会、駅頭・地域宣伝行動、中間に「10・21県民集会」そして後半は新聞意見広告・ワイン販売を中心に各地の独自活動と合わせて取り組むことでした。

各地域・職場のみなさんは選挙等で多忙と思いますが、意見広告・ワインの取り組みを成功させるためにご奮闘をお願いします。各地の取り組み状況は以下のとおりです。

< 那珂平和の会 >

15日のファックスで15名の賛同者名がとどきました。川又さんに電話して厳しいのであと5名募ってほしいと話す。何とか努力しましょうとの返事。有り難い事です。

< 守谷の平和の会 >

斉藤さんから電話で日本平和大会のパンフ追加5部届きました(計20部)との電話連絡、意見広告賛同者も15名集まりました。送金したいのですがとの事。12月7日の締切りまであと5名お願いしたと要請。みんなと相談して努力しますとの返事。

< 北茨城平和の会 >

11月14日、久々に事務局会議が開かれ、数年ぶりに大津港の駅を下りました。新しい会員の藤田・穂積さん、鈴木孝夫・斉藤事務局長の4人の盛大な歓迎を受け今後の北茨城の平和運動の活発化に向け話し合いました。「充実な」討議のあまり、意見広告の話がはずまい。翌日事務局長に電話をかけ、20名目標(昨年10名)を要請。こころ良くOK。

< 鹿行ブロック会議 >

この夏から毎月第2木曜日に定例化し11月は16日に開催。風間・木村・佐藤・伊達が出席。常連の小久保・関口・池貝労組の小川さんらが珍しく欠席。意見広告については潮来市平和委員会が30、潮来・鹿嶋・神栖・銚子の地域で40、計70名の賛同を目標にする。ワインは昨年実績の市役所6ケース・地域で3ケースを頑張る。

1週間後に、鹿行平和委員会の会議がもたれ、「九条の会」の取り組みとして12月に憲法学習会、来春の千葉県の戦跡巡りを実施することを決める。

< 内原・友部平和の会 >

11月16日に事務局会議。前回流れてしまったが今回は6人が出席。「会議は踊る」がここ何回か続きましたが、個人賛同50名、今年は厳しいけど昨年どおりワイン5ケースをみんなで取り組む。来年早々、新春のつどいを実施。

< ひたちなか平和の会 >

19日のひたちなか市議選投票日の夜、大和田・人見・森島さんの3人で事務局会議。市議選の疲れもあるが、これからの運動に大いに励ましとなった。地域の運動と合わせて意見広告も昨年同様に90名目標で取り組むことを申し合わせました。

< ふじしろ平和の会 >

11月20日、レストランで事務局会議を開催。根本事務局長・川島・阿部・杉山さんらと久しぶりに顔を合わせる。選挙等で忙しいが意見広告は50名、分担をきめて取り組む。ワインは昨年どおり5ケースときめる。来春に平和ツアーを実施することを申し合わせる。日本平和大会パンフを財政から支出し全会員に配る。「九条の会」のポスターもまず自分の家の前から貼りだしていこうと申し合わせる。

< ゆうき平和委員会 >

21日、結城市職で国友・富永・叶谷・北嶋・井田・宮本・柳沢のフルメンバーが出席して事務局会議(県から伊達)。ワインの販売が少しくつくなってきたが、何とか今年も市職と地域で1ケースづつ取り組む。意見広告は50名の目標で実現すべく、集金担当者が責任をもって取り組む。日本平和大会のパンフを財政から支出し、全

会員に12月のはじめの集金と一緒に配布する。

その他、東海村平和委員会と水戸西平和の会が22日、太田平和の会が26日に会議を持つ事になっています。また、石岡・土浦・下館・取手でも意見広告の取り組みがすすんでいます。事務局で把握していないところでもそれぞれ取り組みを強めていると思います。12月7日の締切りまでご奮闘をお願いします。



陸上自衛隊員ひたちなか市内で夜間訓練

中止を市に申し入れ

戦時を思わせる鉄カブト(鉄帽)・迷彩の戦闘服、銃剣付の小銃、背のう一式、水筒、雨衣、半長靴装備した自衛隊訓練生38名と小型車5台が真夜中の11月24日午後6時から11月25日午前4時までひたちなか市内と公園を使って行進を実施します。

ひたちなか平和の会と全日本年金者組合ひたちなか支部代表の3名はひたちなか市長に「陸上自衛隊武器学校の徒步行進訓練の中止を求める要望書」を抗議の意を込めて提出しました。総務課長と秘書課長が応対しました。憲法を守る義務のある地方自治体の責任者として今回の訓練の中止を関係箇所に働きかけるよう強く要望しました。

訓練の内容は次号で報告します。

平和かわら版

456

月3回発行

2006.11.25

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



憲法を守る“映画づくり”に参加しませんか

日本国憲法公布60周年記念

劇映画 **日本の青空**

日本国憲法を作ったのは誰か？

06年11月1日クランクイン 07年1月末完成

「製作委員会」に参加のお願い

製作委員は製作協力券1枚1,000円を10枚
(これを一口とする)以上を申し込んだ方
本映画製作にご賛同いただく団体、個人、グループを
作っての参加も大歓迎です。
製作委員には、撮影現場見学、出演者との交流など
を予定しています。又どこの上映会でも鑑賞で出来ます。
製作資金として2億円・2000口を目標にしています。
連絡先 茨城映画センター

029-226-3156 Fax 029-226-3130

茨城の空に米軍機はいりません の署名 ぞくぞく集まる！

各地で取組んでいる「茨城の空に米軍機はいりません」の署名はさかい平和の会が市職員労組と協力した取組みに引き続いて、石岡市職員労組の218筆、全気象労働組合関東中部地方本部水戸分会22筆、守谷平和の会31筆が届けられました。この他に、潮来市職員平和の会と結城平和の会が市職員組合と協力して積極的に取組んでいます。各地の平和委員会・平和の会が地域の団体と協力して、何としても年内5000名を達成させましょう。

(事務局)

平和委員会(平和の会)に入会して、草の根平和運動に参加しませんか！

-書籍紹介-

草の根20年、文化庁も評価

旧協和町の地域上映運動

毎年、旧協和町の川澄さんから、小冊子『平和』が送られてくる。今年で20号。「戦争と平和を考える協和の会」年1回発行。B5版で30ページの小冊子です。

何と簡素はタイトルであろう。しかし、考えてみるとこの「平和」というタイトルほど深く・重いものはない。「戦争」と同じように人類が過去・現在・未来にわたって背負はなければならテーマであります。この小冊子の「第1号発行にあたって」(1988年)には「今私達はかつてない平和で自由に豊かな時代に生きています。しかし・・・私達はあの不幸な悲しい時代を忘れてはなりませんし、・・・真の平和、真の自由、真の豊かさとは何か、・・・真剣に考えなければなりませんし、そのことを次の世代に伝えることが私達の義務であると考えます。」とあり、以後、重ねること19年間で20号。

内容は毎年夏に、茨城映画センターの協力を得て上映会を実施し小学生からお年寄りまでの感想や思い出などを綴ってきたものです。最後のページには収支報告が掲載されています。上映作品は以下のとおりです。白旗の少女・千羽づる・クロのいた夏・ムッチャんの詩・戦争と青春・ぞう列車がやってきた・月光の夏・蒼い記憶・ベトナムのダーちゃん・エイジアンブルー・月桃の花・1本の手・ちぎれ雲・太陽の子・郡上一揆・えっちゃんのせんそう・折り梅・草の乱・火火・明日の記録、の20本。その年の話題作を上映しています。

長年に渡る上映活動は文化庁に評価され援助金を受けることになりました。その理由は文化庁の支援事業の「多様な作品を鑑賞する機会に恵まれない地域での上映



や、公開する機会に恵まれない優れた日本映画の上映を支援します」に該当しその功績が認められたからです。地域での草の根の活動を文化庁も評価する立派な取り組みにこそ拍手を送りたいと思います。一口に20年と言っても「何か」こころの支えとなるものがなければ続けられるものではありません。そこにある「何か」は誰れでもが普通の思っている平和という事ではないでしょうか。(伊達)



第3回常任理事会を開催します

事務局

安倍首相が任期中5年以内に憲法9条を廃止して日本を「戦争する国にする」として、教育基本法改悪、防衛庁を防衛省に昇格するなどの外堀を埋める動きが進められています。

そのような中で、私たちは米軍再編反対する「茨城の空には米軍機はいりません」の署名、12月8日に向けた「憲法9条守れ」の意見広告に取組んでいます。これらの取組みのまとめと来春に向けた県の取り組みを具体化する大事な常任理事会を開きます。ご意見を電話、文書、口頭でご意見を反映させてください。

記

と き：12月22日(金) 午後2時～5時

ところ：水戸市民会館 305号室

- 議 題： 1. 秋の取組みのまとめ
2. 来春の取組みの基本方針について
3. 仲間作り
4. 財政活動について
5. その他

編集後記

頼んでいた原稿が編集日まで届いていない。サー大変！どう紙面を埋めるか。筆者に電話するが、彼も忙しいのか呼び出し音だけが返ってくる。こんなことのないようにと、前もって記事を集めておく体制を作ったが・・・約束はも持っていない(ま)